

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		火葬炉保守運転管理			
所管部局	市民協働部	部局長名	坂本 導昭	予算事業名	施設管理運営費
所管部署	斎場	所属長名	藤崎 健	予算事業科目(平成25年度)	010401020102

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	05	まちの環	施策取組方針	需要の増加が見込まれる斎場の機能拡張整備を進めるとともに、市有墓地の計画的な整備と適切な維持管理を進めます。	
政策	28	安全安心の都市空間整備			
施策	89	墓地等の整備			

2 事業の根拠・性格

		法定受託事務
法律・政令・省令	墓地・埋葬等に関する法律、墓地・埋葬等に関する法律施行規則	
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市斎場条例、高知市斎場条例施行規則	
その他（計画、覚書等）		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民及び高知市周辺住民等			
意図	どのような状態にしていくのか	斎場は人生終焉の場所であり、市民等利用者が滞りなく最後の通過儀式が行われるよう適切な火葬炉運転と炉の点検保守管理を実施していく。			
手段	事業実施体制等	常駐2名による火葬炉運転及び専門技術者による年2回(4月・9月)の火葬炉保守点検	事業開始年度	平成元年度	
			事業終了年度		
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●火葬炉運転業務委託 ●火葬炉の保守点検を行い、修繕箇所等の優先順位付けをするなどし、年次計画に実施している整備工事に繋げていくもの 			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A				
	B				
	C				

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	14,274	14,274	14,274	14,274		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	14,274	14,274	14,274		14,274
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	72	72	74	74		
		正規職員 (千円)	72	72	74	74		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.01	0.01	0.01	0.01		
		正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01	0.01		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		14,346	14,346	14,348	14,348		
市民1人当たりコスト (円)		42	42	42				
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397				
						総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

委託職員は、仕様書どおり業務を行っており、報告・相談等の連絡を受けている。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	B	4.0	高齢化の進展とともに、火葬件数は増加基調にあるが、現在の委託体制で当分の間継続が可能である。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	火葬炉運転（炉裏）業務の委託は、直営と比較して、200万円程度のコスト削減ができています。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	アウトソーシング実施済
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	火葬順位は厳守されており、利用者の公平性は確実に保たれている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	増加傾向にある火葬件数への対応ができています。今後、火葬炉更新時期の検討が必要である。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項